プレスリリース

2023 年　6 月　12 日

報道関係者　各位

公益社団法人日本非常食推進機構
三重県四日市市浮橋 1 丁目 4-3
理事長　　古谷　　賢治

『フードロス解消』×『障がい者就労支援』×『地域社会のために』
企業と障がい者支援施設と共に取り組む SDG s

(2025 年日本国際博覧会にむけて)

(取材依頼)

公益社団法人 日本非常食推進機構では民間企業や行政が備蓄用に保管しており、賞味期限到来に伴う入替時に排出される防災備蓄食を無駄にすることなく有効活用する取り組みを推進しています。

今回、日本トランスシティ株式会社様にご賛同いただき、保有する賞味期限の近づいた防災備蓄食を寄付し、障がい者就労支援施設にて「防災備蓄食を活用したオリジナル弁当」にリメイクすることによる、『フードロス解消』×『障がい者就労支援』×『地域社会のために』をテーマとした企業と障がい者支援施設との共働事業を行います。下記日程にて「防災備蓄食を活用したオリジナル弁当」製造と日本トランスシティ株式会社様への納品（販売）を行いますので、ぜひご来場いただき、ご取材をお願いいたします。

＊ご取材の場合には、事前に下記お問い合わせ先へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

日　　時：令和 5 年 6 月 21 日（水）

製造場所：社会福祉法人みつわ会　就労継続支援Ｂ型事業所　みつわファクトリー　担当：津田
　　大阪府寝屋川市葛原１丁目２７－２０
配送場所：日本トランスシティ株式会社　大阪支店枚方営業所
　　枚方市長尾峠町 46 番 1 号　<u>到着予定時間　11：30</u>

＊　公益社団法人日本非常食推進機構は 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge」の協賛企業に内定しています。